

(3) HPV 検査

ヒトパピローマウイルス (HPV) は、成人女性の殆どが一度は感染するといわれる。ごくありふれたウイルスであり、感染しても多くは自然消滅する。高リスク型 HPV の持続感染は子宮頸がんの原因となることがあるが、高リスク型 HPV に感染しても子宮頸がんになるまでに長期間 (平均約 6~10 数年) かかる為、定期的な検査は子宮頸がんの早期発見に有効である。細胞診と同時に採取した細胞を用いて HPV 感染の有無を調べる検査である。

HPV 陰性(-)の場合：現在は、HPV に感染していない。しかし今後、感染を引き起こすこともある為、細胞診で異常がない場合でも定期的な検診が有効。

HPV 陽性(+)の場合：細胞診に異常がない場合も経過観察が必要。細胞診で変化や異常がある場合は要精密検査。

※HPV 陽性であっても多くは免疫力で自然に消失するため、定期的な検査で持続感染していないかを調べることで、将来、子宮頸がんになるリスクの大小を確認できる。

① 1 日人間ドック

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	比率 (%)
陰 性(-)	13	234	520	573	311	56	3	1,710	94.1
陽 性(+)	2	24	45	20	15	1	0	107	5.9
受診者数	15	258	565	593	326	57	3	1,817	100.0
陽性率 (%)	13.3	9.3	8.0	3.4	4.6	1.8	0.0	5.9	

② 2 日人間ドック

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	比率 (%)
陰 性(-)	0	6	11	29	17	5	0	68	93.2
陽 性(+)	0	3	1	0	1	0	0	5	6.8
受診者数	0	9	12	29	18	5	0	73	100.0
陽性率 (%)	0.0	33.3	8.3	0.0	5.6	0.0	0.0	6.8	

③ 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

	～ 29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～ 79	80～	合計	比率 (%)
陰 性(-)	7	31	22	19	12	0	0	91	90.1
陽 性(+)	1	8	1	0	0	0	0	10	9.9
受診者数	8	39	23	19	12	0	0	101	100.0
陽性率(%)	0.0	20.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.9	

④ 集団健診

	～29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80～	合計	比率 (%)
陰 性(-)	0	9	8	9	1	1	0	28	93.3
陽 性(+)	0	0	1	1	0	0	0	2	6.7
受診者数	0	9	9	10	1	1	0	30	100.0
陽性率(%)	0.0	0.0	11.1	10.0	0.0	0.0	0.0	6.7	